



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

令和7年3月12日(水)

知多市報道発表資料

消防署

担当：救急チーム 榎本、山本新

(0562-56-0119)

消防職員向けの熱中症対策講習会を開催

知多市と株式会社スギ薬局における地域活性化包括連携協定に基づき、消防職員の熱中症対策を目的とした講習会を開催します。

1 日時・場所

3月14日(金) 午前10時から1時間程度
消防本部3階大会議室

2 講師

大塚製薬株式会社

原田 国明(はらだ くにあき)さん

スギホールディングス株式会社

鈴木 泰浩(すずき やすひろ)さん

3 対象者

知多市消防職員 50人

4 背景

熱中症は夏に多いと思われがちですが、実際には初夏の5月から発生し、年々救急搬送の件数が増加しています。昨年も知多市で5月に熱中症による救急搬送がありました。

また、熱中症の影響を受けるのは市民だけではなく、6年8月に新潟県の消防職員が消火活動中に熱中症になり、救急搬送されています。消防職員は、火災現場では通気性の悪い防火衣を、救急・救助現場では感染防止衣を着装して活動し、熱中症の脅威と闘いながら人命救助を行っています。

5 講習内容

知多市消防本部と株式会社スギ薬局との地域活性化包括連携協定に基づき、熱中症対策のプロフェッショナルである大塚製薬株式会社から講師を招き、消防職員向けの熱中症対策講習会を実施します。熱中症になる前に、効率の良い水分補給や熱中症の前兆を学習し、現場活動に活かします。